

**町会に関するアンケート  
報告書**

令和3年2月 弘前市・弘前市町会連合会



## 目次

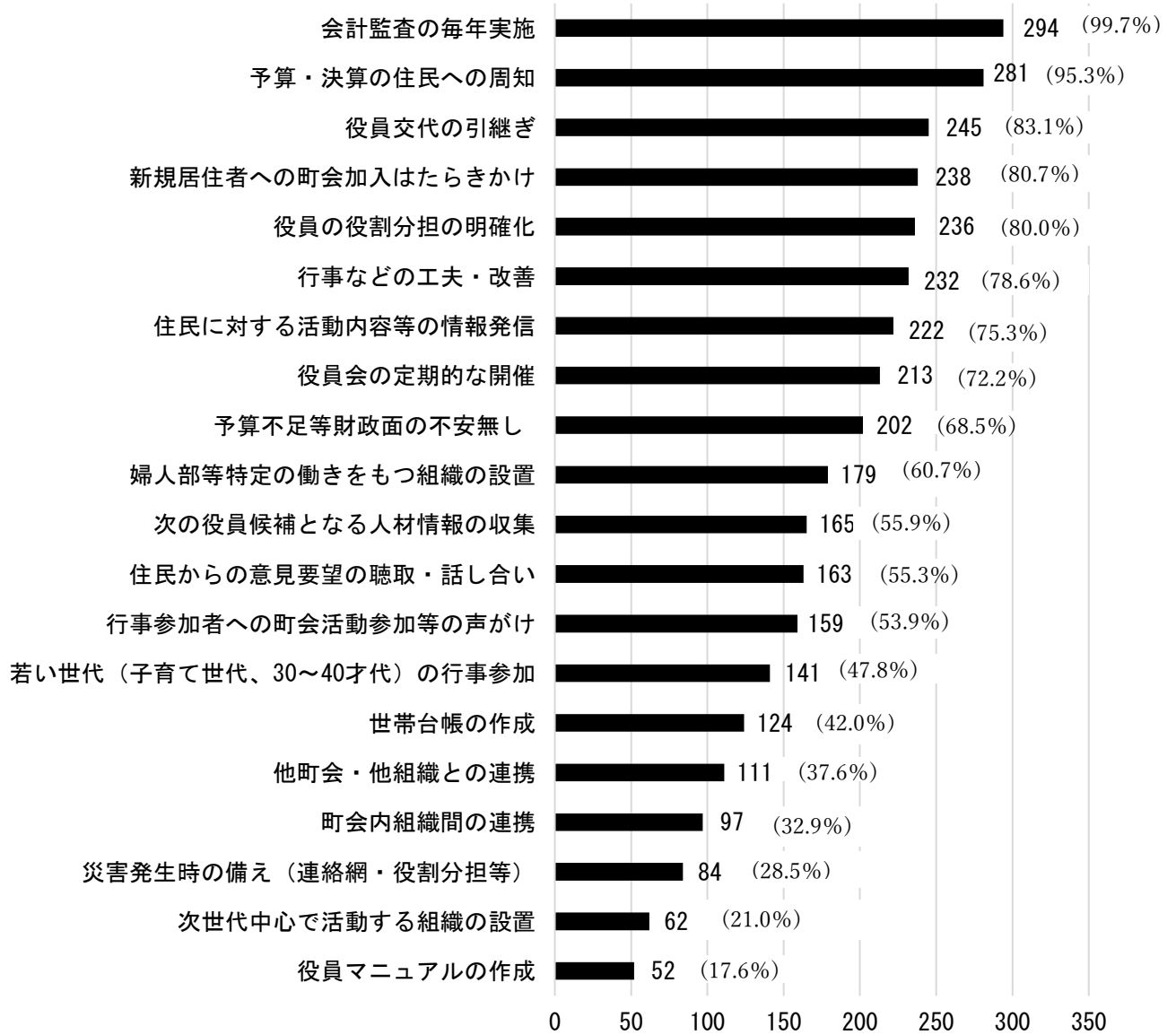
調査概要	．．．．．	P 1
1. 町会の「今」について		
問 1 町会の体制や取組	．．．．．	P 2
問 2 総会の出席者	．．．．．	P 3
問 3 行事等の運営者		
問 4 次期役員のなり手	．．．．．	P 4
2. 町会の「これから」について		
問 5 町会継続への不安度	．．．．．	P 5
問 6 町会運営における重要な取組	．．．．．	P 6
3. 町会と市との関わりについて		
問 7 市に望む支援	．．．．．	P 8
問 8 エリア担当制度について	．．．．．	P 9
4. 最後に		
問 9 各町会の魅力やよいところ	．．．．．	P13
問 10 町会に関する自由意見	．．．．．	P19
〈参考資料〉 アンケート調査票		

## 調査概要

- 目的 近年、少子高齢化の進展などを背景に、運営上の課題を抱える町会も発生している状況をつまえ、町会の現状や課題を把握し、今後の取組について検討するほか、結果を各町会へ提供することで、町会活動の活性化につなげるためアンケート調査を実施。
- 調査対象 市内全 327 町会
- 調査方法 アンケート用紙を配布し、記入後回収
- 調査期間 令和 2 年 10 月 13 日～10 月 30 日
- 回答町会数 295 町会（回収率 90.2%）

# 1. 町会の「今」について

【問1】 町会の体制や取組について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

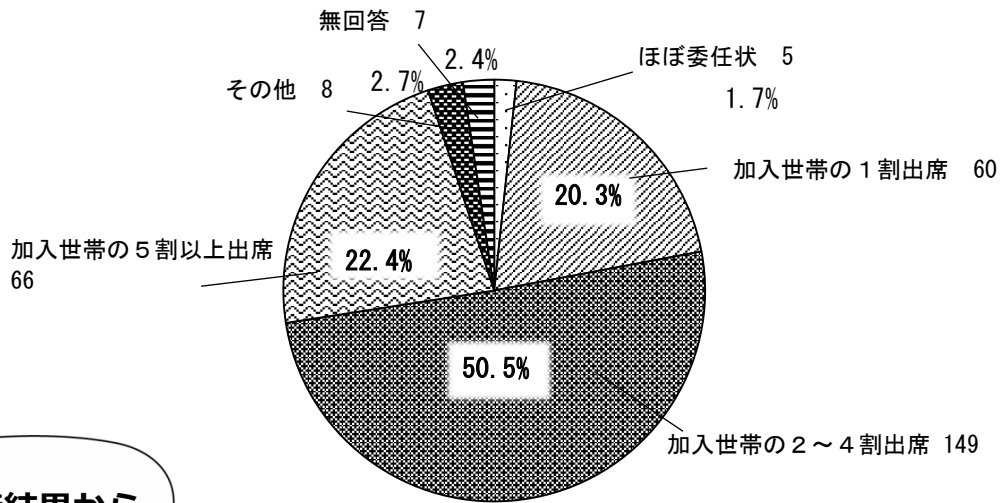


※数字は選択町会数、(%)は提出町会 295 に比した割合

## 調査結果から

- 「会計監査」や「予算・決算の住民への周知」については、回答町会の95%以上が実施している。
- 「災害発生時の備え」、「次世代中心で活動する組織の設置」、「役員マニュアルの作成」については取り組んでいる町会は30%未満と少ない。

【問2】 総会の出席者はどれくらいですか。(委任状提出分を除く)

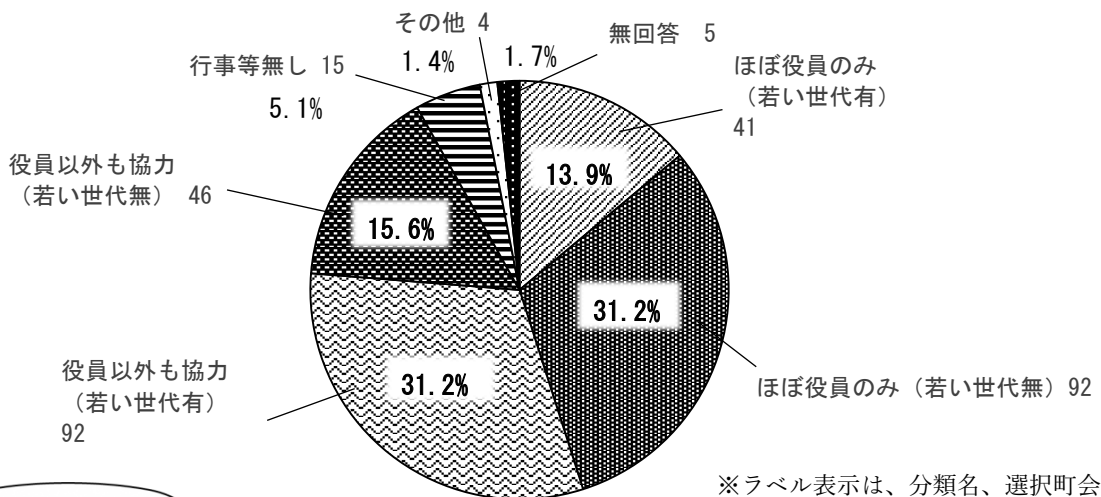


※ラベル表示は、分類名、選択町会数

調査結果から

- 委任状提出分を除く総会への出席者は、約半数の町会において、加入世帯の2～4割であった。
- 「その他」としては、役員のみ出席としている、総会は開催していない等の回答がみられたほか、5割以上出席しているという町会の中には、全員出席しているというコメントもあった。

【問3】 行事等を行う時、運営する側として活動する人はどのような人たちですか。

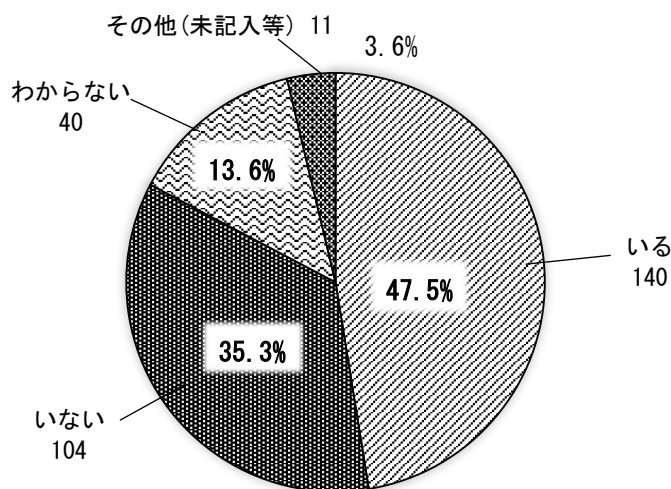


※ラベル表示は、分類名、選択町会数

調査結果から

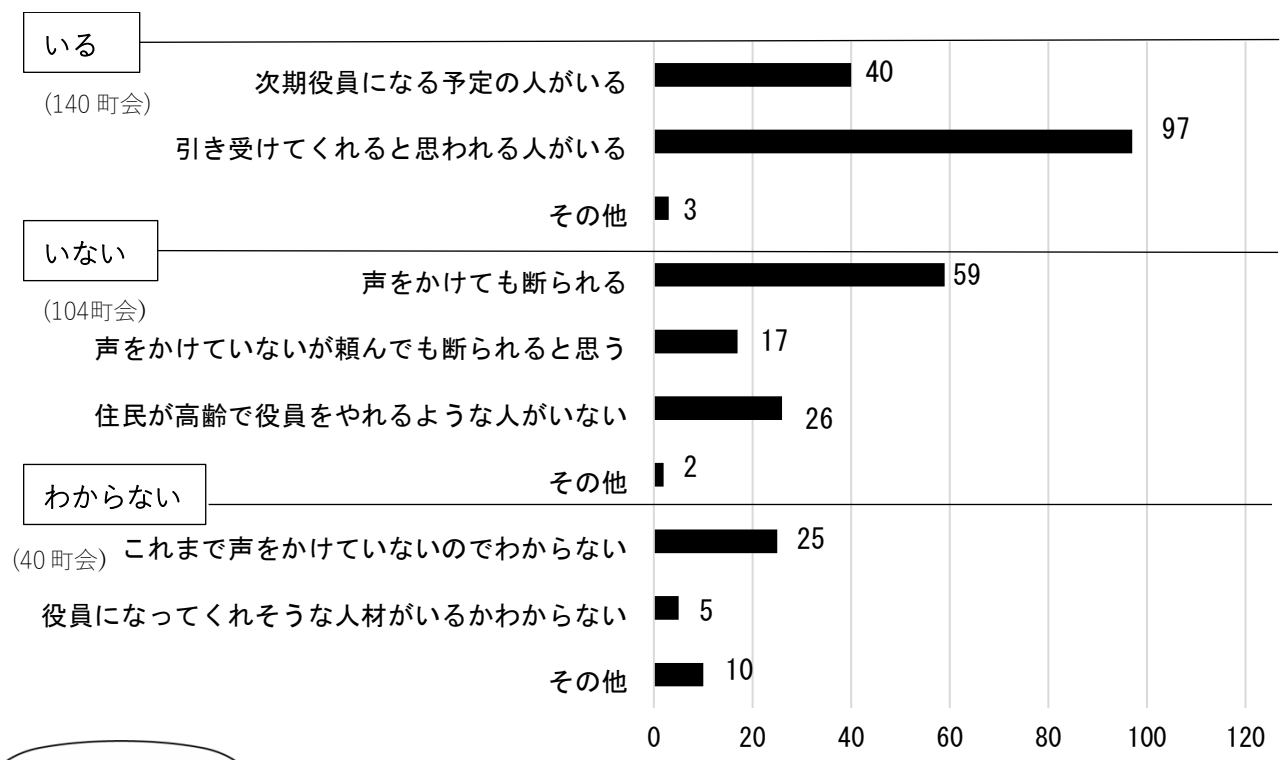
- 「ほぼ役員のみ」で運営している町会と、「役員以外も協力」している町会が、ほぼ同数で、それぞれ約半数を占め、運営者に「若い世代も入っている」町会と、「若い世代は入っていない」町会もほぼ同数で約半数ずつと、両極化の状況がみられた。

【問4①】 次期役員のなり手はいますか。



※ラベル表示は、分類名、選択町会数

【問4②】 ①を選んだ理由や背景は。

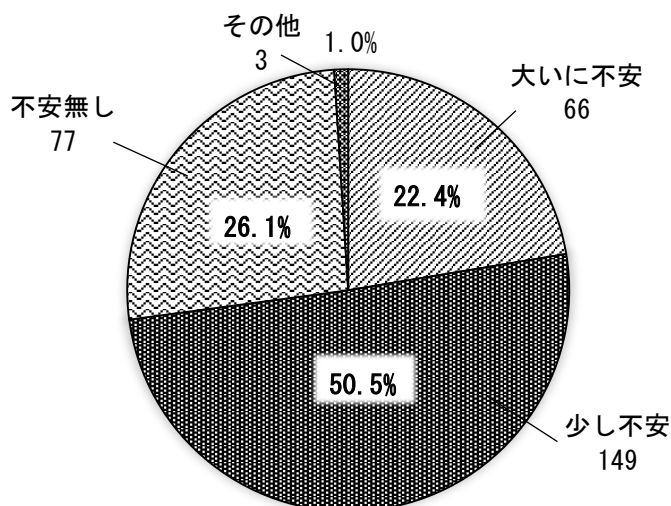


調査結果から

- 次期役員のなり手が「いない」もしくは「わからない」と回答した町会は、合わせて約49%であった。
- 次期役員のなり手が「いない」と回答した町会のうち、76の町会が、声をかけても断られる、もしくは断られると思うためなり手がいないとし、住民が高齢で役員をやる人がいないとした町会は26あった。

## 2. 町会の「これから」について

【問5】 町会の継続について不安を感じていますか。

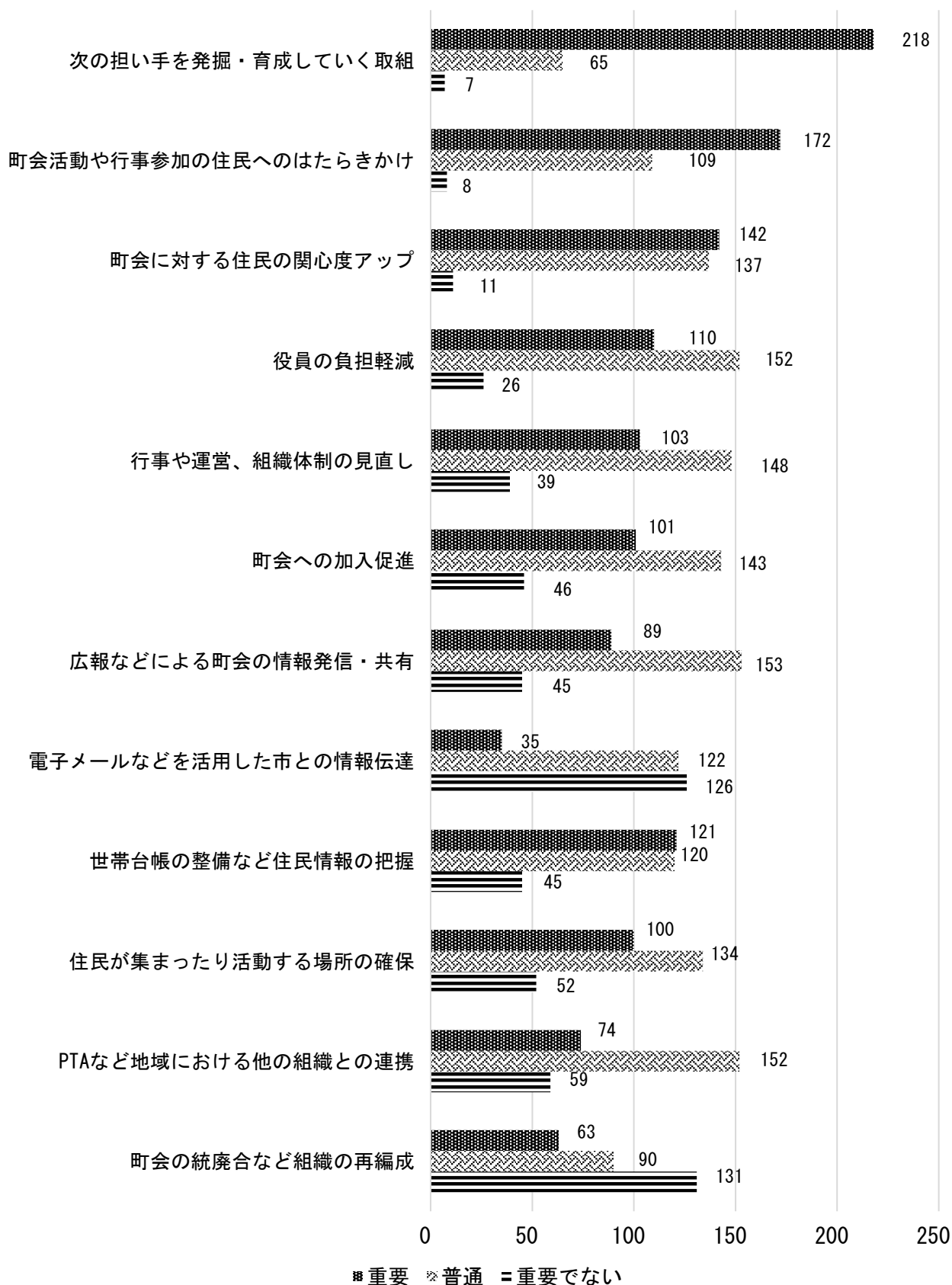


※ラベル表示は、分類名、選択町会数

### 調査結果から

- 約 73%の町会が「大いに不安」もしくは「少し不安」と回答した。
- 「大いに不安」「少し不安」と回答した町会からは、高齢者世帯が多く今後世帯も減っていくことへの不安や、若い世代の不足により人材がないというコメントが寄せられた。

【問6①】 各町会における取組について、これからの町会運営のために、「重要」「普通」「それほど重要でない」から1つ選んでください。

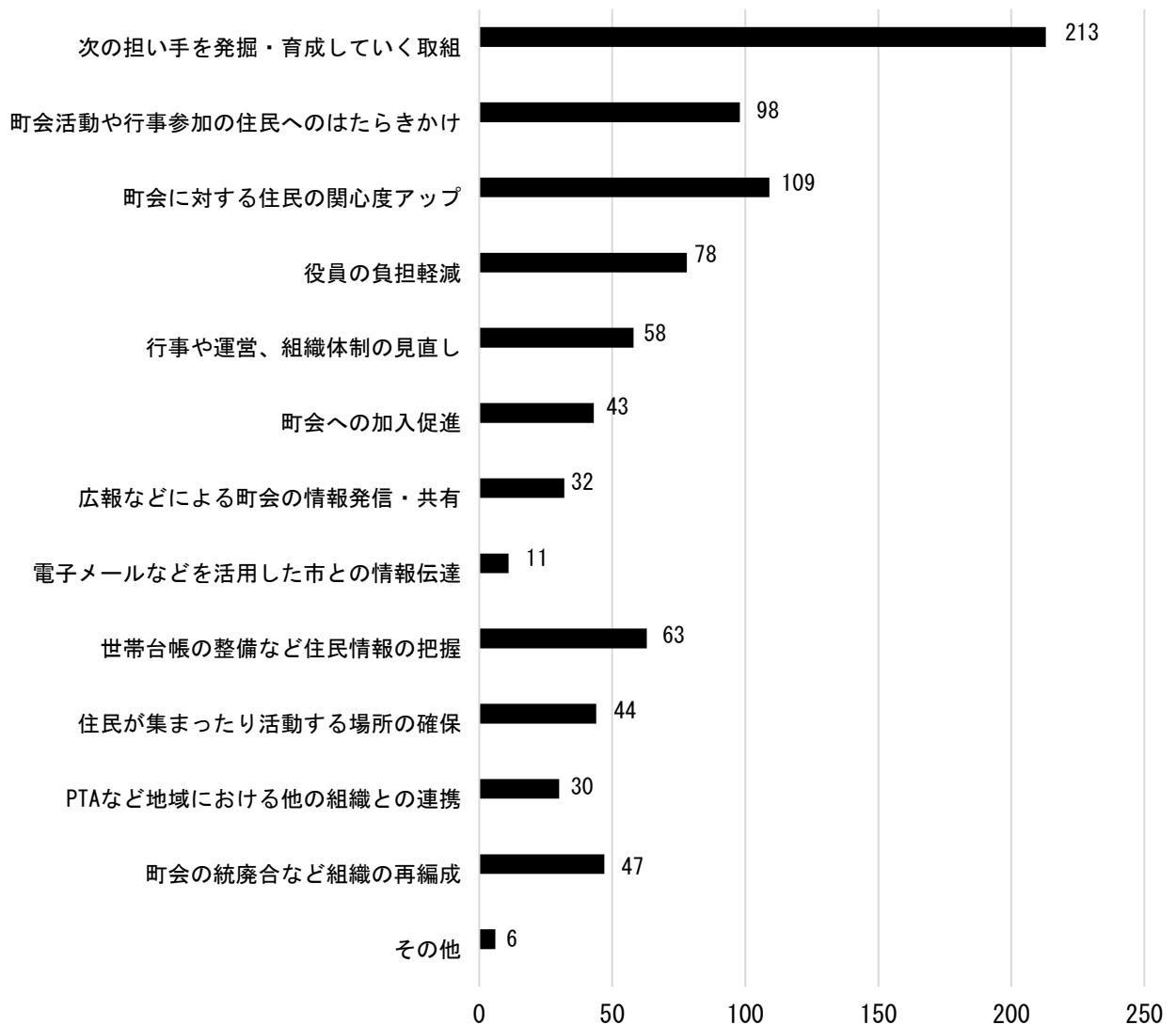


※その他の取組を重要と考えると回答したのは18町会



【問6②】 各取組の中で、特に重要だと思う上位3つを選んでください。

(グラフの数字は上位3つに挙げた町会数)

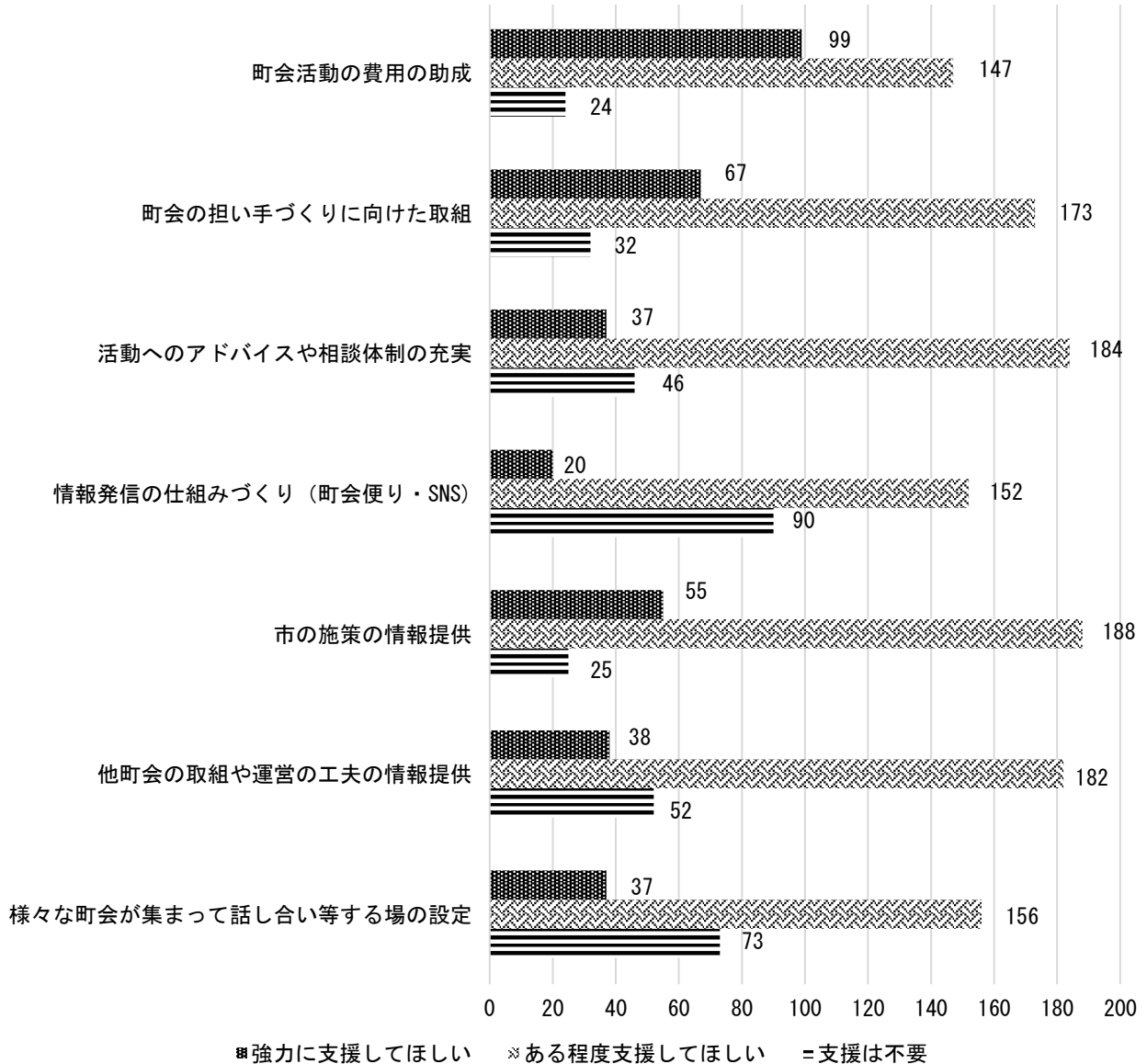


調査結果から

- ・問6①では、「次の担い手を発掘・育成していく取組」を「重要」と回答した町会は218町会と最も多く、次に、「町会活動や行事参加の住民へのはたらきかけ」、「町会に対する住民の関心度アップ」と続き、これら3つの取組は、いずれも重要度について「重要」と捉えている町会が最も多かった。
- ・問6②では、①で「次の担い手を発掘・育成していく取組」を「重要」とした218町会のうち、213町会が、特に重要だと思う取組の上位3つに挙げた。
- ・問6①で「その他重要と考える取組」としては、防災に関する近隣町会との連携、空き家の管理、子ども会の活性化、高齢者の健康維持などの意見が挙げられた。

### 3. 町会と市との関わりについて

【問7】 町会に対する市からの支援について、「強力に支援してほしい」「ある程度支援してほしい」「支援は必要ない」から1つ選んでください。

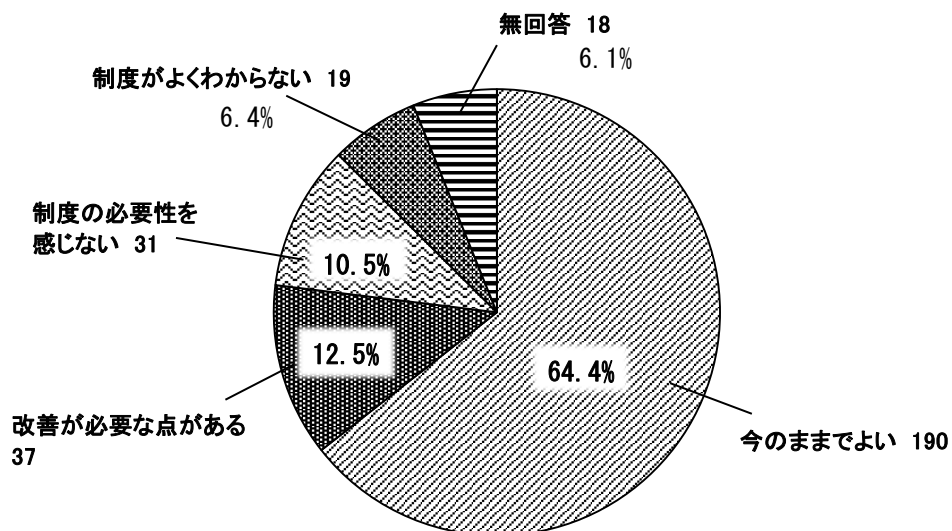


※その他の支援を必要と回答したのは13町会

#### 調査結果から

- 「強力に支援してほしい」取組は、「町会活動の費用の助成」、「町会の担い手づくりに向けた取組」、「市の施策の情報提供」の順で多かった。
- 「その他必要な支援」としては、働いている世代が町会を重要だと思うような取組や、町会で配布するチラシの作成などの意見が挙げられた。

【問8①】 エリア担当制度についてどう考えていますか。



※ラベル表示は、分類名、選択町会数

調査結果から

- 制度は「今のままでよい」と回答した町会が最も多く、全体の64.4%を占め、制度の継続に対してはおおむね理解されている結果となったが、「改善が必要な点がある」、「制度の必要性を感じない」、「制度がよくわからない」とした町会も87町会（29.4%）あった。

**【問8②】 エリア担当制度に望むことや担当職員にやってほしいこと、また改善点など、自由に意見をご記入ください。**

※回答町会の特定につながるような表記等には修正を加えていますが内容によっては、固有名詞が入っていることがあります。また、同じような内容の記述はまとめた形で掲載しています。

※問9及び問10についても同様です。

(エリア担当制度に関する自由意見)

<b>【交流や情報交換・会議等出席】</b>
◆ 総会、忘年パーティーに参加し、住民との交流を積極的に図ってほしい。
◆ 「顔の見える身近な職員」という点ではもう少し関わりがほしい気がする。
◆ 定例町会長会議で町会側からの質問を受けるだけでなく、年に1~2回はテーマを設けて「ミニ市政懇談会」のような自由な話し合い、情報交換の機会を持てればと思います。
◆ 担当職員と自由に意見交換をする場が欲しい。
◆ 地区役員会議には、時には担当職員全員の出席が欲しい。
◆ 月一回程度、行政と自治会の情報交換を設けてほしい。
◆ 「エリア担当制度」は知っているが、実際に担当者に当地区に来ていただき、親密に話し合いをしてほしい。せつかくの制度ですので、より「実のある」ものにしてほしい。
◆ 担当者と町会長等との今以上の情報交換。(待ち受け→積極行動)
<b>【情報提供】</b>
◆ 毎月の町会長会議には参加してもらっているが、市からの情報発信が少ないようなので、充実を望みたい。市民協働課から統一的な情報をエリアリーダーに伝達を。
◆ エリア担当からこちらへ情報提供などのアクションがあっても良いかと思えます。
◆ 弘前市の情報発信をメール(動画)で伝達して欲しい。
◆ やはり市政に関する情報提供。
<b>【現場確認・視察】</b>
◆ お願いする時は口答や写真だけでなく、現場を自分の目で確認してほしい。
◆ 担当エリアの現場視察(確認)。(広さ、住宅と商用施設との割合、防災・道路状況など)
◆ 町会そのものが古いため、側溝やゴミの集積所など見直してもらいたい部分が出てきている。年に一、二度町会内の視察をしてもらい改善箇所等の指摘をしてもらいたいと思う。
<b>【助言・提案】</b>
◆ エリア担当職員に地域のアドバイスをしてほしい。
◆ 住みよい町会として何をしていくべきなのか指導が必要か。
◆ 要望を受けた担当課は、解決のための具体的なプロセスやアドバイスを示してもらいたい。
◆ 地区の現状について、外部の目から気付いた点を率直に意見として出してほしい。地区として一つでも具体的に活性化できる要素があれば実行してみたいと思う。
<b>【担当職員の活動・姿勢】</b>
◆ 担当職員を終えた後、この制度の仕事と関係なく町会住民であれば町会活動に参加してほしい。
◆ 担当者の町会に対する年間を通じた支援などの計画作成と実行。
◆ 住民第一と考える姿勢や協力が大切だと思います。
◆ 町から市への質問や要望について、できないことはできないいいのですが、何故できないか、どうすればいいのか、しっかりと問題点を把握して、対応して頂ければいつも思っています。
◆ 地域の町会連合会だけでなく、各個別の町会の要望や意見を聞き、市と町会とのパイプ役として行動してほしいものである。
◆ エリア担当は町会からの要望を担当課につなぐが、施工日(改善・改修含む)及び完了月日を担当課よりTELを頂けたら良いと思う。

(エリア担当制度に関する自由意見)

◆ 担当職員はもう少し勉強して来てもらいたい。(地区の事情等)
◆ 町会からの話を待っているのではなく何でもいいですから呼びかけてほしい。
◆ 町会の問題点を解決するためには町会の立場に立っていただき、事情をよく聞いていただき、役人目線ではなく地域住民の目線で共に行動してほしい。
◆ ・行政に提出する書類の作成(例:市民参加型1%システムの申請等)を担当する人がいないために、他の補助金、助成金、要望等の申請をあきらめる町会が多いと思っております。 ・市民と行政の協働の推進を図るために、市職員が町会役員を担い、一緒に町会を運営する側で応援したらどうでしょう。町会活性化の起爆剤になるかも。
<b>【担当職員の配置・任期】</b>
◆ その町会に住んでいる(または小学校学区)人がベストだと思います。
◆ (兼務体制ではなく)専門に扱う方を担当にした方が良くと思います。
◆ 町会の事業は一年で完結出来ないものや、予算の事もあり順位をつけて実施する事から、エリア担当が固定でないのはやりにくい。
◆ 出張所では所長が担当だが、他の職員に担当させてはいかがですか。町会の若返りを推進しているのに担当職員が若い人でないのはいかがなものか。ある程度発言力がないといけないのはわかりませんが、役所の方が若い職員が活動しないというのは説得力がないように感じます。
◆ エリア担当になって2~3年で交代してしまうので、継続的な相談は無理な所もあり、あまり重要性が無い。ただ、細かい事項については、結構利便性があり、今後も町会役員会議等へエリア担当に出席頂き活用していきたいと思います。
◆ エリアの地域等の特性を把握しているのか疑問。(本業の他に業務を割り当てている事が良いのか。)
◆ 町会から出ている担当者であれば、町会の行事等に参加しますが、他の町会の職員であれば、なかなか出席は難しい。町会としても案内等を出しにくい。
<b>【その他意見・要望】</b>
◆ 町会としてこの制度をうまく活用できていない。他町会では担当職員の方をどのように活用しているのか知りたい。
◆ 市職員に負担をかける必要を感じない。何の為に町会長や市議会議員がいるのか考えて欲しい。
◆ エリア担当が、要望する案件の担当でない課の職員である場合は、質問、不明点等に対する回答に時間を要し過ぎるし、具体的な回答が得にくい。(やむを得ないものとして理解している。)
◆ ・エリア担当区制度の存在は知らなかった。訪問を受けたこともない。(ここ1~2年の間) ・実動しなければ町会活動は今後不可能になる。
◆ エリア担当制度も大事だが、市職員の町会活動への積極的参加も大事だと感じます。
◆ 要望したことへの回答がないことがあった。
◆ 町会側としての活用方法を更に見つけていければと考える。
◆ 活動が見えません。
◆ エリア担当は地域の要望など感が薄い様である。町会長の中には「いらない」と言う方もあり、もう少し改善する必要があると思う。(担当になったからやっていると見えているのかも)
◆ 年度が進むにつれて役割を理解し、協力的になっていて大変よい。
◆ 今のままでよい。
◆ 対応が早くて助かっています。
◆ この制度は大変よいので、今後も続けて欲しい。毎月町会長会議に出席し、一町会では要望しても困難な事でも直接関係部局へ伝達し、迅速に解決してもらって助かっている。
◆ 町会長会議に毎回エリア担当職員の方が複数名必ず出席していただき、大変感謝しています。質問、意見、要望を聞いていただき、市政の動向や回答を伝えてくださいます。

(エリア担当制度に関する自由意見)

◆ 地区の町会連合会の定例会はエリアリーダーからの情報提供が不可欠です。
◆ 地区連合町会の定例会への出席で十分な気がしている。単独町会への出席の必要性を現在は感じていない。
◆ 行政と町会との連携を図る協働という意味では、極めて有効な制度である。担当職員は月1回の定例会への出席率が高く、職員の地域づくりへの情熱を強く感じている。高評価。
◆ 一步前に踏み出したような支援活動、組織づくりであると評価したい。
◆ 当地区担当のエリア担当職員は、親切・丁寧に対応してくれて、市に対する要望等も迅速に対応してくれるので非常に満足している。
◆ 今後活用したいと思っています。
◆ 必要なとき連絡をして解決してもらおう現在のやり方で良いと思います。
◆ 出張所の職員ががんばってくれているし、要望もスムーズに通っています。
◆ 関連団体の催事や地区公民館を中心とする祭り等に積極的に参加して頂いている。また、町会長会議等で出された問題についても、解決のために積極的に対応して頂き、地区には必要な存在である。
◆ 担当の所長さんは大変よく頑張ってくれている。地区のことを知らない所長では困るから何でも相談してほしいと言ってもらい助かっている。
◆ エリア担当制度自体は継続を望みます。何かあった時の相談窓口としてあるだけでも存在意義があると思います。

## 4. 最後に

【問9】 あなたの町会の魅力やよいところをお聞かせください。

(町会の魅力やよいところ)

【行事・取組】
◆ 当町会の住民は様々な職業の方がおまして、昨年は趣味の作品展をやり大成功することが出来ました。また、歯科の先生には歯の健康について講演して頂いたり毎年研修会を実行して町民と交流をはかっております。今年は、コロナの関係で中止にしました。
◆ ネプタ作りには若い人から年配の方まで参加しております。
◆ 毎年ねぶた運行にも参加しています。団結力があってまとまりの良い町会です。
◆ 六ヶ町連絡協議会があり、地区の垣根を越えて各町会の情報交換をしている。定例会は7月1日、総会は1月18日に開催し、その際は地区消防団も出席する。
◆ 町会全体として、総会、児童公園の除草・清掃・忘年会・新年会・敬老会を実施。専門部会では、老人会の日帰り温泉旅行を年2回。グラウンド同好会は週3回のプレーを児童公園、海洋センターで。他地域からの参加も認めている。児童公園に付随する花壇の管理は、住民相互の交流と生活環境の改善に役立っている。
◆ 廃品回収を始めて今年で20年になりました。最初は本当に少量でしたが、今は皆さんの協力で何かと助けられております。保管場所があればもっと沢山協力していただけるのですが残念です。年4回、これからも頑張りたいと思います。
◆ 長年実施してきた行事として、河川清掃への参加（年2回）、夏休み期間中10日間子供ラジオ体操、成年部主催による納涼祭、老人クラブ一日温泉旅行（年2回）。
◆ 毎月役員会（三役・運営委員）には26名中20名以上が参加。町会でのできごと、問題点、行事等の話し合いが密に行われている。
◆ 住人のゴミ置場の掃除（1週間）当番制に皆様協力頂き、大変感謝しております。又、町内の苦情、側溝清掃、草刈り、枝の伐採（交通の妨げ解消）、除雪についても役員、一部町会員など積極的に参加しております。
◆ 広報などの各戸への配布や回覧板などの伝達はスムーズに伝わっております。
◆ 会議は年8回程度の役員会と年4回の組長会議を行っている。組長会議では町会からのお願いごとと組員の声を聴くようにしている。
◆ 平成30年12月に市の1%事業を活用し、町会史を作成しました。
◆ ねぶた、けの汁ふるまい（神社宵宮）、緑地や神社境内の清掃・花壇づくり、しめなわ奉納など。
◆ 高齢者を定期的に訪ね、報告会を行い、たすけあい精神が優れている。
◆ ・ 婦人部の活動：正月飾りの有料配付、食事会の開催 ・ 老人部の活動：歌の会、一人暮らしへの見廻り
◆ ・ 子供ねぶた愛好会を中心に、大人と小人の地区のつながりがある事。又、このつながりをベースに自主防災組織や除雪隊のメンバーが構成されている事。 ・ 上記を基に近隣町会とも連携がある事。
◆ 高齢者の為の体操等を集会所（団地）を借りて実施している。
◆ 町会費（住民への徴収なし）をかせずに、弘前市と町会の情報伝達を迅速に行う。
◆ 農園があるので町会民に貸与したり、保育所、児童センター等といっしょにジャガイモ、サツマイモ、大根の植付から収穫までを体験させたり収穫祭を催したりしている。
◆ 当町会は4月～11月まで月1回の清掃があり、道路サポーターの認定も受けています。団地内や歩道の草取りなど積極的に活動しています。

◆ 定期的に山門の消火訓練を行っている。
◆ 主に役員中心に町内住民の日常生活の動向（特に健康状態）、他地区への移住、あるいは町内に新たに移住して来た人達への情報等、比較的早い時点で把握・共有し、町内に早くなじむようにアドバイスし、住みやすい環境づくりに力点を置いている。（例：他地区への移動、他地区からの移入、河川・用水路等の洪水、カラス、蜂、アメリカシロヒトリ等の害の情報共有）
◆ お便りを発行していますが、文章だけでは見捨てられる事が多い。写真入りは歓迎されています。随時（必要なときに）発行するようにしています。できるだけ町会会員個人の利点を載せ町会行事への参加意識を高めるようにしています。
◆ 特に婦人部の活動は評価され、町会の音頭まで作詞、作曲。町民は大変喜んでいいる。
◆ 私たちの町会は、この地区団地発足当初からの町会で、町民の意向のもとに、民意を大切にし、創立40周年、50周年の記念式典や記念誌の発行、地区体協スポーツ大会への協力などを実施していることが、町会の誇りです。
◆ 運動会の時に役員の方々が、いろいろと考えてくれて協力し、成績はまあまあですが一生懸命活動してくれることを誇りに思います。12月のクリスマスにも何人かで料理を作ったり、クイズをしたりしてプレゼントを渡したり、家族何人も出席し、楽しい1日を送ります。（参加費は無料で町会から出しています）
◆ 弘前大学に協力いただき、国際交流という名のもとイベントを開催することが出来る。（国際交流夏祭り、国際交流もちつき大会等）
◆ 町会での夏祭り（200人～250人参加）、児童部夏休みラジオ体操、寺子屋、お泊り会、正月の集い、クラシックギター教室、カルタ会その他。
◆ 公園以外の空地（4ヶ所）を自主的に草刈りをしている。
◆ ・町会内に9つの部があり、部長を中心に部員が協力して各種の行事等の活動をしている。 ・伝統の盆踊り、親睦旅行（日帰り）を実施している。
◆ 自主防災組織を編成。文化祭、もちつき大会の行事、軽体操、刻字、手芸、藤教室及び子育てを実施している。また、町会広報を毎月、全戸配布している。
◆ 住民の親睦。文庫（図書）の開設（月2回）。
◆ 納涼祭は隣接2町会に対し案内状を出し、3町会の親睦を図っている。
◆ 公民館や各組織、他の町会と連携して交流親睦を深めている。 例）・地区手作り屋台村などの行事 ・3町会合同敬老大会
◆ 町会の行事として、各棟入り口を定期的に消毒。今期はコロナ関係上、市の春夏町会一斉清掃や土淵川沿いの環境整備は町会独自で実施。
◆ 関係機関（消防、神社、子供会等）との会議を年に2回開催し、行事や意見交換を行っている。
◆ 公民館運営委員の皆様方の協力により、文化祭には芸能大会を開催し、婦人部手作り織物やさまざまなものを出品したり、食事も作って盛り上げております。
◆ 子育て支援によるお楽しみ会、新築者懇談会を行い、円滑な生活移行への手助けを行っています。
◆ ・盆ねぶたの運行 ・ニジマスのつかみ取り祭り ・防火広報 子どもたちが「拍子木」をたたき、町会を巡回し「火の用心」 ・環境美花運動（花いっぱい運動）5月～10月 1世帯1鉢運動で環境美花を実現する。
◆ 女性役員と女性部員の活躍がめざましい町会です。町会行事全般にわたって活動の中心となって汗をかいている。女性部なくして町会を語れない存在であり、町会自慢の部隊である。
◆ 町会単独で行っている敬老会への参加率が高い。
◆ ・活動の中にキャンペーンやコンテスト（表彰）、善行者表彰等ユニークなことを行っている。 ・玄関先に鉢花を置こう運動（環境美化運動）など環境に優しい活動も行っている。 ・町会を歩こう会を実施。健康管理等も住民に啓発している。



(町会の魅力やよいところ)

◆ 12月に神社の鳥居に飾るしめ縄を一週間ぐらいで有志一同で毎年作っています。
◆ 地区の中学校、小学校、保護者そして地域の高齢者が一体となって各種行事等を含め情報発信、共有している。ある意味地域の活性化として根付いていることは喜ばしいことです。
◆ 10の神社に奉納するしめ縄を若い衆が担いで廻る裸参り、リンゴや米などの豊凶を占う祭、地区環境保全会のメンバー（約100戸の内、花の会40人）が環境整備として花の植栽などの活動をしている。
◆ 町会で実施している岩木山神社への参拝行事。毎年旧暦の8月18日に行っている事業で前日のお供え餅づくり。又、当日の参拝に住民が参加していること。
【人・交流】
◆ 振興組合と重複している人が多いので活動もスムーズに行われている。
◆ 各自尊重し合い、和気あいあいと行っています。
◆ 高齢者が多いが隣り近所の結びつきが強い。 (例) 独居老人宅を近隣の人が毎日のように見守りをしている所もある。
◆ 町会創立63年を経過しており古くからの住民は親しく交流できているが、近年、高齢単身等世帯から施設入所となり、住居解体、アパート建築が多く希薄化が懸念されている。
◆ ・105世帯と少ないため、全員の顔の認識が出来る。 ・挨拶を交わして仲が良い!!
◆ 声掛けするとボランティアで快く協力してくれる点。
◆ 若い世代がそれなりに活動に参加している。
◆ 町会活動の中心となる青和会（もと青年部）や婦人会のメンバーは、年々高齢化しているとはいえ、大変仲が良く、チームワークが抜群です。地元で生まれ、地元で育ったメンバーの強味でしょうか。神社境内に町会集会所があり、神社の社は町会民の心のより所になっています。
◆ 総会、レク等に家族ぐるみで参加してくれる。
◆ 昔からの住民が住んでいるので、少しながら助け合いの気持ちを持っている人が多いのでは。
◆ 小さな町会ですが、6班で構成されています。広報紙の配布や集金など、各班の班長さんが協力的で感謝しています。
◆ 世帯が公務員（国、県、市、年金受給者）であり町会組織に理解があり協力的で助かります。
◆ 町会活動は改革しないと町の皆さんの満足のいく活動にはならない。今こそ、みんなの考える楽しい活動にしていこうと思っています。それには役員の結束と協力以外にないと思っています。
◆ 近隣トラブルがない和やかな住宅街である。子供の明るい笑い声が聞こえ、将来が楽しみである。
◆ 会議に関する出席が非常に高い。
◆ 現在役員の平均年齢が70歳を下回っているので、まだまだ他の町会に比べてフットワークは良い方だと思います。
◆ 10年余も機械除草してくれる5~6人のボランティアの方々がいるなど、前向きな方が多い。
◆ ある程度の信頼関係ができています。
◆ 会員の後押しがあるので、思い切った改善ができています。
◆ 住民のトラブルが少ない。
◆ 老人クラブ加入者の一部の方々が積極的に町会行事等を実施し参加している。
◆ 当町会で生まれて育った人たちが60歳代になってきて、自分の町会に対して愛着を持っているので、町会を良くしていこうという思いがあり非常に感謝しています。
◆ 人と人の繋がりが強く、子どもたちを大事に考える町会です。
◆ 若い後継者がいる。
◆ 従来の活動からは、特に変わった事はしていませんが、町会民のつかず離れずの距離感が丁度良いのかと感じております。
◆ 世帯数が少ないので行事等はほぼ全世帯の人が参加してくれる。

(町会の魅力やよいところ)

◆ 学区において町会費が一番安い。年1回の総会に参加する人が多い。
◆ 町民第一に思って活動しています。
◆ 200以下の世帯数で90%以上がりんご農家。ほとんどが顔見知りが強み。
◆ 村祭りなどでは今でも若い人(20~40代)に参加協力いただき大いに良い村づくりが出来ています。
◆ 私より若い世代ががんばってくれているので、町会、地区、行事では一つになって活動が出来ていると思います。
◆ 校外班活動。特に一次産業のりんごにおける若い人の活動等。
◆ 終戦(昭和年代)後開発された地域で、公務員、学校関係勤務の住民が多く、町会活動に理解してくれる。
◆ 町会の役員に40代・50代の人を入れたことによって活発な意見が出て、町会の運営がよりスムーズに良い方向に進んでいると思う。
◆ 冬季オリンピックのスキージャンプ選手二人が出場したことが町会の誇り。町会の運営では先人達の足跡を学び「和合」を合い言葉に歴代町会長がこれを基本として町会運営を行っている。
<b>【環境・街並み】</b>
◆ 大学病院、寺など近く住みやすい。
◆ 市内にありながら静けさに満たされている。禅林街が近いところが街に落ち着きをもたらしている。
◆ 町会は水害や事件もなく穏やかな町会です。
◆ 近くにりんご公園もあり、にぎやかで活気がある町会です。
◆ ・市の中心商店街と連携した取組ができる(しやすい)。 ・商業地域であることから、買い物がしやすい環境にある。
◆ 生活面での立地条件に恵まれている。(ショッピング、医療機関他徒歩圏内)
◆ 駅、スーパーなども近く暮らしやすいところだと思います。
◆ 土地区画整理事業により街並みは整然と整理。閑静な住宅環境にある。
◆ 大きな事件や事故も無く住み良い町です。只、少子化で子供が少なく、やや活気に欠けるのは残念ですが、多くの世帯が親子で住んでおり老人単身世帯が少なく近所の仲が良い町です。
◆ 住環境良好、生活インフラ至便、弘前大学学生アパート立地面でも人気エリアと思っております。
◆ 集会所、児童公園、神社が一体となっている。
◆ 大正14年創業の印刷屋、昭和27年開院の病院、そして昭和30年開校の小学校の三つを誇りに、住民は固い絆で結ばれています。
◆ 私達の町会は歴史的遺産や人物がない振興住宅地の集まりです。幸い空地や更地があっても新しい方々が転住し、町会に加入してくれる落ち着いた町会が良きところだと思います。
◆ ラベンダー通りなので町会の美化を重んじている点。
◆ 子供や老人による交通事故防止と犯罪のない安心安全な環境を作りたいと思っています。
◆ ・町内に「川」「遊歩道」「公園」等があり、豊かな自然がある。 ・中心市街地から少し離れているが、病院、学校、商業施設が比較的多く点在し、生活する上で恵まれている。 ・公園等の整備が定期的に行なわれ、子供達が遊べる環境が整っている。
◆ 新規の若い世帯の参入もあり、戸数が増えている。道路事情も良く住みやすい町会だと思う。
◆ 公共施設が近く、弘前公園に隣接しており、環境が良い。
◆ 一昨年から分譲した場所に多くの家が建った。若い世代がほとんどで、子供の明るい笑い声が聞こえ、将来が楽しみである。
◆ 町会の交流会館が新築され、町民の交流やコミュニティに多くの方に使用されておるところです。

◆ ・観音様や神社などがあり、他県からの観光客も多い。 ・昔は、商店がたくさん連ねていたが、今はせんべい店と、自転車屋と、喫茶店2軒、酒処2軒、からあげ店と少なくなった。 ・大通りを一歩入ると、閑静な住宅街である。
◆ 町内に留学生、外国人の職員等が住んでいる。
◆ だんぶり池、ホタル池、子どもの森等があり、市民のいこいの場になっている。
◆ 戸数が少なく、こじんまりした町会。みなさん消極的ですがまだ田園があって環境はととても良いです。
◆ 昨今は農地が宅地化され色々な人達が住み、若い世代の方達と交流出来ればと思っております。
◆ 公園、道路にゴミが落ちていない。
◆ 生活住環境の良さ、町会内でほとんどの物がまかなえる。
◆ 自衛隊や各種学校があり活気に満ちた地区です。弘前市内へは、弘南電鉄大鰐線やバス路線があり、交通の便に恵まれています。
◆ 立派なお宮がある。大きな川がある。
◆ ・自然が豊か。 ・夜は静かで眠れる。
◆ 標高が高い地区なので市内の夜景がきれいである。
◆ 岩木山を望める最高の公園がある。
◆ スポットとしては、地域の農業を支える水がめとしても重要なため池を平成元年に親水公園として整備し、近隣の人たちの憩いの場所として利用している。
◆ 公園の桜や紫陽花、自然が豊かなところ。
◆ ・歴史スポット ・展望台 ・神社 ・健康散歩コース
◆ まちから見る岩木山が一番素晴らしい。市の「岩木山総選挙」で最も票を集めた城西大橋の線上にあります。
◆ 昔から温泉地として栄え、近年は、嶽キミのブランド化に成功し生産が需要に追いつかない勢いである。また、岩木山のふもとに位置し、四季折々の自然を体験できる地域でもある。そして、小さな町会ながら弘前市唯一の「小規模特認校」指定の小中学校が存在する地でもある。
◆ 静かで景観が良く近隣との交流がある。子供達が安心して遊べる。
◆ 川の水が清い。
【歴史・文化】
◆ 町会の歴史も古く著名人も多く出ている。
◆ 禅林街、弘前公園など観光スポットが近い町会である。
◆ 弘法大師の石像。
◆ 歴史ある店が、この厳しい社会事情の中でもよくやっている。
◆ 伝統文化の獅子舞がある。
◆ 今から二百余年前に六ヶ町に伝来している山車は当町の宝物である。現在はご承知の通り市立観光館内の山車展示館に鎮座している。ここに展示している他町会の山車も含め弘前の貴重な文化遺産である。観光資源として一層のPRをお願いしたい。又、運行は極めて困難と思われるため山車を模した人形ねぶたを運行したら如何でしょうか。
◆ 昔、津軽の殿様が参勤交代で通った町です。今年、町会は創立80年を迎えました。
◆ 当町会は、商人と手工業者の町として、昭和の時代のある時期までは、市内でも有数の大きな町会、財力のある町会として歩んできたようです。住宅地として発展してきた町会とはひと味違った地域の絆が、親から子へ、子から孫へと受け継がれてきた町だと思えます。
◆ 歴史のある町会ですので全部とは言いませんが、町会に誇りを持っている町民が多く、町名を汚すなが合言葉になっている。

(町会の魅力やよいところ)

◆ 半分は昔から住んでいますが、あとは、平成時に新築したところ。江戸時代旧下級武士が多い地域で歴史ある町会です。
◆ 伝建保存地区で歴史的文化財がある事。これを基に近隣町会とも連携がある事。
◆ 堀越城史跡に魅力を再認識してもらい多いに活用していきたい。
◆ 寺山修司の生誕地、秩父宮居住、平尾魯仙等。
◆ 旧陸軍第八師団の兵舎があり、小学校はその兵舎を利用して開校した。明治35年1月20日朝5：30に第31連隊は、八甲田雪山行軍のため兵舎から出発した。
◆ 町村合併で町会となり引揚者が主に入居した地区で人情味豊かな町会でしたが、今は高齢者が多く、昔の姿を知っている人も少なくなりました。
◆ 当町内に「市指定有形文化財の板碑2基」がある。
◆ つかのさくら街道。
◆ 当町会にある神社は古くからあり、鳥居には赤鬼が番人として居ります。又、神社には赤鬼がおり向かい合っており、昔平和を願って作られたと聞いております。
◆ 前田光世の石碑もあり、神社には鬼の面もあります。
◆ 瑞楽園や板碑群が所在。
◆ 町会公民館と隣接して地藏尊堂があり市の保存樹木ハリギリが約200年の時を経て現存しています。
◆ 当町会内には、津軽地方最古といわれる、文永4年（1267年）の板碑があり、弘前市指定有形文化財となっています。
◆ 当地域には、史跡や伝説が数多くあります。例えば、鬼が一晩で造ったと言われている鬼神堰、それを祀る鬼神社。また、江戸時代に飢餓で苦しむ人々を救うため、津軽藩の殿様に直訴した百姓一揆、その首謀者として処刑された義民民次郎の眠る龍味庵墓地があります。
◆ 縄文の魅力がいっぱい。
◆ 当村は堂ヶ平山があり色々な神々がごぞいます。その為、村祭りなどは今でも若い人（20～40代）まで、これに参加協力いただき大いに良い村づくりができています。
◆ 当町会は岩木町時代から町の表玄関として自負しております。この姿勢は弘前市に合併になった今でも変わりません。先達者が築いてきた伝統行事のしめ縄奉納などを時代に合わせ継承しています。
◆ 烏井野獅子おどりや白山姫神社の鬼。
◆ 今回の弘前城石垣改修工事に伴い、当町会の神明宮から産出された石が大量に使用されていることが判明した。その見学に時々大型バスが来るようになり、このことは当町会員にとって地元に対する自信、誇りとなった。
◆ 古くからの町会であり、一町田せりは有名。
◆ 長慶天皇にまつわる御陵墓参考地がある。

【問10】 町会に対するご意見や、町会活動を行う上で日頃思っていることなど自由にご記入ください。

(町会に関する自由意見)

【高齢化・担い手不足・住民の関心不足】
◆ 行事等の参加人数が少ないのが残念です。
◆ 町会定住者の激減で町会活動に著しく支障をきたしている。定住者も高齢化し、次世代役員は極めて少数であり、幼児、就学児童も皆無であることから町会の存続も危惧している。
◆ 高齢者が多い町会なので、行事をやっても参加がない。子どもがいない町会なので学校とのつながりが薄い。亡くなったり、ホームに入居したり。若い人は仕事があるので町会に関心がない。
◆ 町会長の年数が経るにつれ連合会、他団体及び行政関連の業務・役職の負担が増々重くなっていく。平日の会議も多く、現役の勤め人は無理であろう。町会に割り当てられる各種委員の選出にも苦勞。結局、兼務してしまう。
◆ 町会の総会・各行事の際、広報や近所同士呼び掛けを行っているが、参加する人が固定化し、役員の担い手も先が暗いのが心配である。
◆ ・事務連絡や書類作成のための庶務担当者がいない。(ワープロ又はパソコン技術者。) 町会の仕事は全て町会長一人で代役を務めており大変である。町会長のなり手がいないのは、これも原因の一つかも知れない。 ・町会長は町会の仕事以外の諸会議が多過ぎる。
◆ とにかくにも役員の担い手がいないことです。市のOB、小・中学校のOBの先生方に退職時に町会にお手伝いをして欲しいと3月(退職説明会)にお願いをして下さい。
◆ 行事の参加者を増やす為にも、近隣町会と共に行えればと思っています。
◆ 町会住民が高齢化しており、役員の後継者不足が当面の大問題。
◆ 役員が高齢化しているので、あと10年ぐらいで町会の存続が危うい。
◆ 他の町会では定期的にニュースを発行して、全町内に回覧板でお知らせしていますが、そういう人材が見つかりません。
◆ 町会組織の継続の為には、単なる集まり、大人の飲み会と言われても、集って話し合い、定期化される事により、つながりが出来る事が大事だと思います。大人が楽しければ小人も集まり、自然体で一つに向かって行動できると思います。ねぶた参加、運動会、納涼祭り、盆おどり、色々と仕掛を企画していく人達を集める努力が必要です。その為には行政の支援が必要。
◆ 町会以外の組織(老人会等)もすべて町会の役員が兼務している。
◆ 新型コロナウィルスの感染拡大で行事等が行われず、つながりが薄くなるのではないかと不安。
◆ 町会活動は「人」を育てること、と思います。私の次に続いてもらえる人を早く持つこと、これが町会の中で次々に生まれてくると、常に町の人たちの求める活動になっていくと思います。一人一人の資質が各々異なることは当然のことで、その資質・能力が活かされる様にしていきたく思っており、日々配慮しています。町会長はその一人一人を如何に活かしていけるか、できるかが試される役割と考えています。その最も重要なことは「役割分担」です。町会長の代わりが何人いるか、これが今の私の課題です。何でもいから代わりができる人。例えば、役員会の連絡、役員会の記録、まとめ、町会全員への報告など。
◆ 活動しない方に無理して活動を強いるようなことはしない方がよいと思う。
◆ 町会の役員は、自営業、無職の人が多く、国・地公務員退職者は非常に少なく、町会の仕事は働いていても可能なので、市の方からも支援のPRをしてほしい。
◆ 町会長職を長く続けることは「マンネリ」を招くだけだと思う。
◆ ・年代交流<老年~中年~若年>のつながりがとても大事だがなかなかできない。 ・最大の目標は青年(若者)(おおむね30代・40代・50代)等の会を結成したい。
◆ 最近では町会活動に参加する年齢が高くなっているせいで、次の世代との引き継ぎがスムーズにいかなくなっている。

(町会に関する自由意見)

◆ 行事よりも災害時の町会の重要性を周知させたい。
◆ 子育て世代が町会活動に参加するようになってほしい。
◆ ・町会の担い手に50～60代の参加がほとんどいない。(町会活動に興味をもたない。) ・新しい町会加入者へ町会活動(必要性)が理解されない。(メリット、デメリット)
◆ 定例会での発言が全くなく、新しく行事などが組めない。
◆ 高齢化になり役員達の動きが鈍重になって来ているため、積極性に欠けて来たように思われます。
◆ 町会組織が崩壊した場合、町会にかかる不利益についてお知らせ願いたい。今の町会の現状では広報を受けとること以外メリットを感じていない。(広報もメリットと言えるかどうか)
◆ 町会活動、行事等について無関心の人が多い。
◆ 活動は日曜日に多いため小・中学生の参加者が少ないことと、それに伴い父兄の参加者が少ない。
◆ 私たちの町会はほぼ農業をやっており、りんご農家が多いので市のイベントなどに参加する事はなかなかできないのが現状です。
◆ 最近では若年層を含めた次世代との意思疎通がスムーズにいかなくなっているように感じる。年配者側の意識改革が必要なのかも知れませんが、今後とも、交流の場を意識して作っていかねばと思っております。
◆ 町会の事を思うと簡単にやめられない。ボランティア精神だと思いつめている。
◆ ・20～40代は町会連・各団体のしくみ、事業内容の知識が乏しい。参加しないから知識がない⇔知識がないから参加しない(関心がない)。 ・子育て中、あるいは子育てが終わった人たちの殆どが関心がないのかとも思うが、何かしら参加してみたくても、そのきっかけが必要(ほしい)と思っている人もいると思いたい。昨年実施の地区公民館まつりに来て頂いた多数の若い世代を見てみると子どもをきっかけにするだけでなく、本人が参加してみたくてなることが出来ればとは思っている。 ・町会により、町会長の任期が1年、2年で交替が多く、地区として持続性・継続性のある事業が難しくなっている。
◆ 町会の行事には参加してくれるが総会に参加する人が少なく苦勞している。
◆ りんご農家は忙しく、そのことを理由とした役員のみ手不足。
◆ ・もう少し私たち(若い世代)の立場(子育てや仕事、他団体活動【消防団・公民館】)を理解して欲しい。 ・まだまだ、年間の行事や会議、昔ながらの活動ややり方が多過ぎると思う。
◆ ・町会長になり、町会の組織と役割等を文書にして見える化し、住民へ公開した。「役員の手がない」という言葉や文字を見ることが多いが、現状の世帯数から自分はそのとは思っておらず、町会長になってから役員会と班長会議を年間計画にし定期開催とした。役員の人選、次期役員の候補等も会議の回数を増やしたことで、住民の中にいる人材(良い人材)もたった2年でも多数存在する事がわかった。いかにコミュニケーションが大事か再認識することが出来た。「担い手がない!」のではなく「掘り起こしていない」と思っていて、若い世代は「班長会議」の中から自分たちでつける努力をしないとだめと感じている。町会の役員は、町会の歴史をつくるレールを敷く役割なのであると思ってしまう考え方を役員に浸透させていきたい。 ・仕事との両立がいちばんの課題であるが…。「楽しい」「やりがいがある」と思えば苦にならない…。そう思う人材を増やさなければ。
◆ 今、若い世代が人とのふれあいがなく、どのようになって行くのか、又、どうやって活動に出てもらうかとても心配しております。
◆ 公民館及び老人クラブ等の解散などにより、町会内の行事をどのように開催したら良いのか、又、今後の町会活動をどうするかで実施したら良いのか悩んでいるところです。

(町会に関する自由意見)

◆ 財源や担い手不足を解決するためにも、地域でのコミュニティビジネスを始める必要があると考える。地域協同組合を設立し、事業を展開し地域の仕事場の提供、集う場の提供、財源の確保など、自分たちで責任を持ち立ち上げる必要があるのでは。そして、町会運営もそこで行っていくと役員負担の軽減になる。担い手不足の深刻な他の町会でも、地域の事業所やNPO、NGOがプロボノで地域の事務局となり、町会運営にあたるそんな形ができていいのではと思っている。そう簡単な話ではないが、持続可能な地域を形成していく上での一つの方法かもしれない。
◆ 住民の意識改革かな。
◆ 弱者対応の民生委員、交通安全等のなり手がいない。ボランティア的な考えでは対応できない。
【町会加入】
◆ 年々町会の人数が少なくなっていくのでさびしい。
◆ 大学生の町会加入は難しい。新規で勧誘しているが、特に医学部関係者は、ほとんど関心なし。
◆ 町会に加入したがるらない。転入して来た世帯も殆ど町会に加入しない。児童によって通う小学校が異なり、世話人の活動を敬遠して町会に加入しない。
◆ 町内には、小さなアパートが散在するが、入居する住民も減り、出入りも激しく、町会加入の呼びかけも難しい。
◆ 新しい方々が町会に入らないことが多くなっています。町会の魅力をどう伝えていったらよいか。
◆ 町会内における居住者の町会加入が少ない。やはり行政がアパート入居者にも町会加入を呼びかけ、町会費を払ってもらおう取組が必要だと思う(県、市で条例を作り)。
◆ 町会への入会を拒否された場合、町会加入のメリットを的確に説明することが難しい。
◆ アパートの数が多いが町会に加入するアパートの人が少ないので、不動産や大家さんの方から加入してくれたらと願っています。
◆ 未加入者については、「母子家庭・病弱」を除き大半が利己主義によるものだと思う。そもそも町会とは、相互援助生活組織でありその地域に移住したものが助け合いながら生活するための組織で、地域社会と共にある生活で社会が構成されていることへの認識を理解する必要があると思う。会社等では、家族の為、社会の為一生懸命に仕事をし、会社も社員の為、社会発展の為、地域発展の為に事業に取り組んでいるのに、そのような社員が生活の場である地域町会に加入せず利己主義では会社生活も良いものではないと思う。商工会議所などを通じ社員へ町会加入を進めるよう推奨してもらうことはいかがか。
【町会費・活動費】
◆ 世帯数が減少しているため、町会の収入が少なくなっている。町会独自の事業を行うことが出来なくなっている。高齢化のため町会費を上げることは困難である。
◆ 当町会の集会所は町会員が出し合って建てたが、修繕費には細かな支援をして欲しい。せめて火災保険の補てんをお願いしたい。
◆ 活動費、維持費の支援を今以上にお願いしたい。
◆ 会長職を魅力あるものにするには、年間手当の増額も一手ではないかと存じます。市の支援額を加算するのは如何なものでしょう。
◆ 事務費交付金の増額を望んでおります。世帯1000円(現在700円)になれば、簡易な事業は補助金申請をしなくても自由に事業ができるので、町会活性化につながり、その分、町会活性化支援補助金を無しにできると思います。
◆ 小規模町会は少子高齢化の影響を直接受け、世帯数の減少や高齢世帯が増えている。今後、町会活動や神社等の維持のため町会費の徴収面で厳しくなっている。小規模町会への交付金基本額の見直しを検討できないか。
◆ 公民館建物の老朽化及び神社の樹木の伐採等の維持、修繕について、多額の費用を必要として、町会財政面に不安がある。

<b>【活動場所】</b>
◆ 公民館が築60年以上になり、今後の大きな課題です。
◆ 小さな町会のため住民が集会する場所がなく、近隣町会や民間の施設を利用することも一策であるが、高齢者が多く近場でないと不便なことや、費用の算段が必要となる。
◆ 集会所がないので役員宅で開催している状況なので、役員会、集会が限られる。
◆ 老人が多くなっているため、集会所等の施設があれば一層良くなると思う。
◆ 町会の人気が軽に集まってお茶をするような場所が無い。
<b>【世帯台帳】</b>
◆ 世帯台帳については以前と違い個人情報に関する事なので、町会で保管するのはプレッシャーが大きい。
◆ 個人情報漏れる恐れがあるので今台帳の作成は止めている。世帯主だけを把握している。
◆ 災害等が発生した場合の対応のため世帯台帳の備え付けの必要性を痛感しているが、役員会に提案しても賛否両論で今は備え付けていない。町会の世帯台帳の備え付けの重要性を「広報ひろさき」に登載し啓発活動を実施してほしい。
<b>【町会の統合】</b>
◆ 当町会は世帯数が60と少なく、将来的に隣の町会と合併したほうが良いと考えており、そういう方法が町会の存続を維持する手段だと思う。今後、具体的な動きを考えていきたい。
◆ 町の中心地なので店舗借の方が3割位で住民は益々高齢者のみ。企画・行事をしようにも参加人数が少ない現状で、近い未来統合ありかと思っています。
◆ 200~300世帯あっても1つの町会で成り立っているところもある中、我が町会は40世帯で次の役員になる人がいない。正直このままでいいのか困っている。
<b>【街並み】</b>
◆ 既存の事業所・店舗が廃業、移転、撤退でその後地がアパート新築とか駐車場に代わり“街”の変貌ぶりが著しい。
◆ 昔はにぎやかな商店街。今はさびれて閉店シャッターだらけ、空地だらけの商店街になりました。
<b>【町会の状況】</b>
◆ 近年町内にアパート・マンションが増え、アパート・マンションの住民とのコミュニケーションが取りにくくなっている。
◆ 新しい団地になり、新旧住民の意見の食い違いが多く、町会として本当にやりづらい。又、高齢者と若い人達との歩み寄りに理解を示してくれる人がもっと増えてくれたら嬉しく思う。
◆ 従来町会住民と、住宅開発後の住民が混在し、その融和が難しいところである。
◆ どの程度迄町民に対し町会がサポートすべきか尺度が無く方向性が分らない。存在意義が明確でない。
◆ 町会が大きいので、常に町会全体を把握するのは大変である。
◆ 町会独自ニュースなどは発行が難しい。旧態依然の傾向が残っているため進化するためには、改革が求められていると考える。
◆ 町会単独での活動には限界がある。地区としての活動が必要と思う。
◆ 前例主義がはびこり、変化の説明が大変である。
◆ 「助け合い精神」が薄れてきたのに加え、合併前に実施されていた「町会公民館制度」が廃止されたことにより、地域コミュニティが後退したように思うが、弘前城石垣修繕の件により、町会への自信や誇りが芽生えつつある。今後これを町会活動にどう生かしていくかが課題と思う。
◆ 町会によって形態（世帯数、年齢別比率など）が様々であることから、他町会の事例が参考にしにくい。



◆ 一人ひとりの価値観が時代と共に変化し、個人主義的傾向が強まっている。特に農村部とは異なり、住宅街の住民の町会に対する帰属意識は薄れている。今後、町会として果す役割や活動も変わっていくのではないかと思う。
◆ 世代交代で隣り近所が希薄化しているのが心配です。
◆ 災害時の共同協力が、大きく必要となります。地区町会は離れていて、共助協力のしようが無いので、近隣町会との1年1回でも交流が必要だと思っている。
<b>【ごみ関係】</b>
◆ 町会費未納者が、町会費にて作製したゴミ箱へ投入しているので注意すると、市に税金を払っているのに文句あるかと言われるが、この様な場合どうしたらよいのか。
◆ なかなかマナーの改善がなされていない。
◆ ゴミ出しのルールが崩れかけています。
◆ ゴミ捨て場の管理についてしっかり市でも対応してほしい。
◆ ネットによるゴミ箱（折りたたみ）を町会20か所に配置した。市の補助金に感謝する。
◆ 町会設置のゴミ置き場に町会外から無分別のゴミが捨てられ、カラスにより飛散されて大変。
◆ ゴミ籠設置の助成金を全額助成又は3分の2に引き上げてほしい。
<b>【空き家・空き地関係】</b>
◆ 空き家でのアメリカシロヒトリの発生の苦情があり、連絡先が不明の所が多い。
◆ 高齢者世帯や空き家問題も増えると思いますので、解決に繋がる施策を希望します。
◆ 空き家の解体にも費用がかかるので、持主に今以上の補助を出して、更地化していけないものかと考えています。
◆ 空き家になる前に一人暮らしとか高齢者だけが住んでいる家庭を回って、これからの事を聞くなど、空き家になる前に手を打つ方法があると思う。
◆ 環境悪化や防犯上心配があり、住民も不安を強めている。
◆ 空き家対策を国、県、市町村等で早急に考える必要がある。
◆ 近年空き家、空き地が増えていることで近隣とのトラブルが起きています。（空き家の庭木や雑草。冬の屋根雪等の問題。雑草の問題。） 近隣同士だと感情がむき出しになるので調整をお願いします。
<b>【防災関係】</b>
◆ 自主防災組織結成の必要性は感じているが、人材、予算など考えるとなかなか結成できない。
◆ 早い時期に、自主防災組織が重要とっております。
◆ 自主防災組織を組織するにしても現役員の負担や組織化後の町会の責任の重さを考えると今いち踏みきれない。
◆ 災害の時避難場所になっている所は、食料・水・毛布などの支援はありますが、町会の集会所にはありません。是非これからの検討事項として支援方法がないか考えて下さい。
◆ 災害時の名簿等の作成は反対の声もあり、近年は厳しい状況となっている。
<b>【除雪関係】</b>
◆ 除雪作業を改善してほしいと強く要望します。除雪業者への指導を徹底し、時には指名をしないという措置も必要かと思えます。
◆ ・道が狭く除雪車が半分以上入る事が出来ない。 ・除雪する場所が欲しい。 ・中央通りの裏道なので、迂回に良く利用して車の通りが多い。
<b>【インフラ・環境整備関係】</b>
◆ 市に対して”道路の舗装”、”側溝の”フタ”、”交通信号設置”、”空家の草刈り”等々、”生活上のインフラ整備”を強力に迅速に進めてもらいたい。
◆ 道路の改修が必要である。

(町会に関する自由意見)

◆ 通学路になっているので、道路の端の白線を5年くらい前に引いてもらったのですが、大分薄くなってきているので、また白線を引いてもらえれば嬉しいです。
◆ 町会の街灯について、すぐに現場に来ていただき、ありがとうございました。
◆ 洞喰川を蛍の住めるよう綺麗な小川にしてもらえないものか。
◆ 今年の秋は暖かったせいで、アメリカシロヒトリが一斉に広がったが、隣の町会にもアメリカシロヒトリが広がっているのでも市（行政）が取り組むべき問題では。
◆ 街灯が足りない。あっても夜ついていない。
◆ 砂利道の整備（特に私道）
◆ ・緊急車両が町会まで来るのに30分以上掛るので心配。 ・自然災害が発生すると道路が一本しかないで孤立する可能性がある。 ・携帯電話が圏外の所が多く、不便を感じている。
◆ 大久保堰沿いの時敏小、一中の生徒の通学路の補修をお願いしたが、法定外道路の為駄目との事。あれから2年、舗装も大分壊れ自転車通行は危ない感じがする。
<b>【広報関係】</b>
◆ 町会も高齢化で各戸配布も大変になりつつあるので、広報を月1回にできないか。
◆ 班長の負担減のためにも、広報ひろさきその他の毎戸配布物を月1回とかは無理なのか。
◆ 広報ひろさき等の配布に関して、町会に配布させる方法でなく直接個々の世帯に行き渡る様な工夫をお願い申し上げます。
◆ 紙媒体の「広報ひろさき」は月1回の発行とし、紙媒体が必要な世帯には個別に配送するなどして月2回の各戸配布の負担をなくして欲しい。
<b>【その他行政への意見・要望】</b>
◆ 市の助けなくして、町会活動の推進はありえない。逆に町会がなくなる、町会活動が停滞すると市としても困ると思う。今後とも、尚一層の ひと・もの・かね のご支援をお願いしたい。
◆ 他の近隣町会との交流を、市が立案計画作成する。
◆ 町会にお願いすることとしないことを区別して町会活動を見守っていただければと思う。
◆ 町会と市の連携は必要であるが町会は市の下部組織ではないので、地域の事だからといって何でもかんでも町会に振ることはしないで欲しい。結局のところ町会役員だけの負担となっている。
◆ エリア担当職員の理事会への参加出席は、各町会長からの評判が良好で、是非続けて欲しいとのことです。（話し合いで知識と情報が得ること出来る。）
◆ 市と町会（住民）との情報伝達について、双方向（簡単）に出来る様に、デジタル（インターネットを利用）化して欲しい。
◆ 国勢調査なども一般住民には負担が大きかったようです。（コロナの影響も）
◆ 「食と産業まつり」のポスター掲載中止の連絡など、電子メールで一斉送信できるようにしたら良いのでは。
◆ 単身高齢者に対する見守り支援等は今後益々増加すると思うのでそれをどうするか。
◆ 回覧文書の多さが目立つ。
◆ 町会を脱会した世帯があり共益費を別に集めることにしたが、共益費未払い分を残りの世帯で頭割りしている現状。住民ではどうしようもなくなっている。共益費は行政で集めて頂きたい。
◆ 廃棄物減量等推進員には報酬が支払われていますが、町会長にも同じくらいの報酬があれば良いと思います。
◆ 市の助成申請に関する書類の簡便化をお願いしたい。
◆ 弘前市においても行政のデジタル化を進める必要があると思う。
◆ 各部署からくる文書が多い。ペーパーレス化を進めていくスピードを上げて下さい。

◆ ・配布物の電子化 ・連絡の簡素化（市でメール利用を推奨など） ・町会単位の電子掲示板があってもよい。（更新をメールで通知）
【町会長として思うこと】
◆ もっと女性の町会長が増えることに期待します。
◆ 情報交換の場が出来ると良いでしょう。
◆ 今年度途中からの町会長代行なのでよくわからないことが多く、町会の運営にあたって不安な面がある。
◆ 当町会は旧市内と言われる地域にあり、他町会と同じく世帯数の減少と住民の高齢化が進んでいますが、その分落ち着いた静かな暮らし易い安心・安全な町です。住民の苦情や揉め事も無く弘前市の町会の中でも住み心地ではベスト10に入る町と自負しています。町会長として、これからもこの住み良い町を護る為に働いていきます。
◆ 町会と町会民の係わり方は、濃いにこしたことはないが、押しつけがましくならないような、ほどほどの関係でいいのではないかと思う。町会が継続して、維持していくことが大事なことと思う。
◆ ・「町会長」は市との橋渡しとなるよう努力しつつ、小さな事から改善していこうと思ひ活動している。 ・出来るだけ多くの町民が理解出来るような情報を発信しようと努力している。 ・長い時間はかかると思うが、若い世代も参加してもらえようような年間行事を役員で話し合いながら盛り込み、実行していきたい。 ・組長の負担軽減を図れるよう、話し合いの場を設けて、実行できるよう努力している。 ・町民の要望を出来るだけ聞く場を作り、市（エリア担当職員を通じて）に要望していこうと思っている。
◆ ・今般コロナウイルスのため活動が制限されていますので、現在は静かに過ごさざるを得ません。 ・災害時の役割や避難場所の確認、及び非常時の対応法など町会で話し合う機会を持つことが重要と考えており、世帯台帳の更新及び整備、住民情報の把握等の作業を進めたいと思っています。 ・毎月の定例会でその他の町会長さんのお話が参考になります。
◆ 当町会の住民は昔から、小集落のせいか絆が深く、町会には皆協力的である。
◆ 私たちの町会は、町会行事を大切に、懇親会や児童公園清掃などを通して、町民の親睦を大切にしてきた。このことを通して、町民は、それとなく皆が協力する状況が生まれてきた。住民との意思の疎通を一層大切にすべきと考えて、町会運営をしております。
◆ 各班の班長さんが一生懸命仕事をこなしてくれて大変助かっている。また、それぞれの班で、問題点があればすぐ私に連絡が入り、先日も空き家の草刈りを5人で3軒行った。皆さんの協力でなり立っていると思っている。不平や不満は聞いたことがない。
◆ 今後も現在住んでいる人達が、何とか安全で安心して生活出来るよう、住んでみて、住んで良かった、住まわせてあげたい町会であるよう助け合い、励まし合い、いたわり合い（三合い）をモットーに進めたい。
◆ 人間の良さ、交流によってお互いに助け合えると思っている。
◆ ・町会が活動していて良かったと町民に思われるようにしている。 ・子供向け、老人向けの行事により相互の交流を深めていきたい。
◆ 目標としては町会の融和を忘れないように、今後も町会活動は試行錯誤しながら、町会を無くさない様にしたい。
◆ 町会活動がもっと楽しくなるようにしたい。
◆ 住民が理解できるような周知、活動及び行事を考えて行っている。
◆ コロナ禍の中、顔の見えるふれ合いをしていきたいと思っています。今年の敬老の日には役員が紅白のお菓子を配達し、大変喜んで頂きました。家庭訪問が大事だと実感しました。

(町会に関する自由意見)

◆ 「あいさつ」と「交流」、お互い気軽に声を掛け合って、明るく活力あるまちづくりを目指しています。子供やお年寄りをメインにした行事等で、役員と町会の老若男女のアイデアを吸い上げ、安心して住めるコミュニティを目指して町会活動の運営に力を注いでいます。多くの行事の主人公は、役員や町会ではありません。むしろ黒子に徹した方がうまくいきます。責任は町会長等がすべて負う気持ちでやっています。
◆ 町会で何か活動や行事を行うことで、町内会のつながりが出来ることは実感しています。今後も親子で参加できる行事や、みなさんの交流の機会をつくっていきたいと思います。若い役員がいるうちにどんどん活動していく。
◆ 日常のあいさつ、会話を通して意思疎通をはかり、そのことによって町会の活動に気軽に参加してもらえるのではないかと考えて活動しています。共助・共生（共に生きるふるさとづくり）を柱に据えて、町会の発展をめざしていこうと訴えかけています。
◆ 町会の皆さんの協力に感謝しております。
◆ 町会の役員には必ず女性を複数で入れることを心掛け、女性の意見を大事にして運営しています。
◆ みんな幸せに生活できるように。色々な人やものがあるが、それらは十分生かされているか。効率は第一にしない。今だけの事は考えず20年～50年先を考えよ。人の和を第一にする。
◆ 町会役員が日頃がんばってくれているので大変ありがたい！
◆ あまり負担のかからないように町会役員には協力いただき、このままの状態でも若い世代につながられればと思います。
◆ 来年度、町会創立50周年を迎える。町会では、50周年記念に関する検討メンバーを結成し、検討中。検討チームの事業計画を役員会にはかり、実施することになる。
◆ 災害時町会活動の果たした役割と町会連合会の発展について、地道な町会活動の賜と先人に敬意を表しております。（陸奥新報記事より）
【その他意見】
◆ 市政懇談会の進め方に工夫が必要だと思う。当日その場で質問する方には、主催者側が質問事項を整理し、担当部署に回答の準備をしてもらったり回答の優先順位をつけるなどしていただきたい。
◆ 市町会連合会は市民のために何をしようとしているのか。市を取り巻く、災害時に何をすべきなのか一考が必要。
◆ 昨年度までは、定期的に役員会を開催してきたが、今年度は新型コロナ禍のため、年度始めに1回開催したきり。このような状況下でアンケートを収集しても意味がないのではと思われるが。
◆ 今回の調査は前の調査と同内容的で必要性があるのか。
◆ 老人クラブへの新規加入者がいない。
◆ 子ども会は子どもの数が少ないため活動ができないようである。

## \*町会に関するアンケート調査票\*

日頃、市政運営及び市町会連合会の活動にご協力いただきありがとうございます。

町会は、ごみ集積所の管理や雪処理など日々の暮らしを支えているほか、住民同士の交流が災害時の助け合いにつながるなど、私たちの生活にとって重要な役割を担っています。

しかし、近年、少子高齢化の進展などから運営上の課題を抱える町会も出てきております。

市では現在、地域コミュニティの振興に向けた取組を推進しているところですが、このアンケート調査によって、改めて町会の現状や課題を把握し、今後の取組について検討したいと考えております。

お忙しいこととは存じますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

回答にかかる時間は20分程度です。

よろしく願いいたします。

### ◆ご記入にあたりまして・・・

○ご記入は町会長さまご自身を基本としておりますが、町会の他の役員の方とご相談のうえご記入  
いただいてもかまいません。

○今年の新型コロナウイルスによる影響は除き、例年の状況についてご回答ください。

○アンケート結果は目的以外には使用せず、特定の町会が明らかになるような公表はいたしません。

※記入方法などわからないことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

### 【 問い合わせ先 】

弘前市 市民生活部 市民協働課 地域コミュニティ振興室  
担当 大瀬・伊藤(昌)  
電話 40-0384 (直通)

### ◆ご記入が終わりましたら・・・

ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、令和2年10月30日(金)までに郵送くださるようお願いいたします。(切手は不要です。)

☺☺☺ では、ご回答をお願いいたします。 ☺☺☺

**最初に、どちらの町会かおしえてください。**

町 会 名	
-------	--

## 1. 町会の「今」について

まずは、あなたの町会の体制や取組など現在の状況についてお伺いします。

問1 次の中で、あなたの町会にあてはまるものに○をつけてください。

分類	体制や取組の内容	○記入欄
A 組織・ 体制	① 定期的に役員会を開催している。	
	② 役員が交代する時には引継ぎを行っている。	
	③ 婦人部や環境衛生部、青少年育成部、交通安全部など特定の働きをもつ組織がある。	
	④ 今の役員の次の世代が中心となって活動する組織（50～60才代くらいの組織、青年部など）がある。	
	⑤ ③④に挙げたような各組織は、相互に協力し合い連携をとっている。	
	⑥ 災害などが発生した時への備え（連絡網や役割分担）がある。	
	⑦ 世帯台帳を作成している。	
B 役割	① 各役員の役割分担は明確に行われている。	
	② 役員などの役割についてマニュアルを作っている。	
C 予算・ 決算	① 会計監査は毎年行っている。	
	② 予算・決算について広く町会住民に周知している。	
	③ 予算不足により町会活動に支障が出ることはなく、財政面に不安はない。	
D 行事・ 事業	① 町会行事などについて、必要に応じて工夫や改善などを行っている。	
	② 他の町会や団体と連携して取り組んでいる行事や事業がある。	
E 広報・ 広聴	① 町会住民にお知らせや活動内容など情報を発信している。	
	② 町会住民の意見や要望を聴いたり、住民同士話し合ったりする機会がある。	
F 加入促進 ・担い手 育成	① 町会内に新しく住み始めた人には、町会加入をはたらきかけている。	
	② 行事の参加者に対し、活動の参加や町会加入に向けた声かけを行っている。	
	③ 次に役員を引き受けてくれそうな人材の情報を集めている。	
	④ 行事には若い世代（子育て世代、30～40才代）も参加している。	

問2 総会への出席者はどれくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

(出席者については、委任状提出分を除きます。)

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| ア ほぼ委任状         | イ 加入世帯の1割ほど出席 |
| ウ 加入世帯の2～4割ほど出席 | エ 加入世帯の5割以上出席 |
| オ その他 ( )       |               |

問3 あなたの町会で行事等を行う時、運営する側として活動する人はどのような人たちですか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |  |
|--|
| ア ほぼ役員のみで運営している (役員には若い世代 (子育て世代、30～40才代) もいる) |
| イ ほぼ役員のみで運営している (役員には若い世代はいない)                 |
| ウ 役員でない人も運営に協力している (その中には若い世代もいる)              |
| エ 役員でない人も運営に協力している (その中には若い世代はいない)             |
| オ 行事等は行っていない                                   |
| カ その他 ( )                                      |

問4 あなたの町会では、次期役員のなり手がいますか。

① 「A いる」「B いない」「C わからない」からあてはまるもの1つに○をつけてください。

② ①の回答を選んだ理由や背景について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

①回答欄	②回答欄
A いる	ア 次期役員になる予定の人がいる イ おそらく役員を引き受けてくれると思われる人はいる ウ その他 ( )
B いない	ア 声をかけても断られる イ 声はかけていないが、頼んでも断られると思う ウ 住民がほぼ高齢で、役員をやれるような人がいない エ その他 ( )
C わからない	ア これまで特に声をかけたりしていないのでわからない イ 役員になってくれそうな人材が町会にいるのかわからない ウ その他 ( )

## 2. 町会の「これから」について

問5 あなたの町会では、現在、町会の継続について不安を感じていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |               |              |
|---------------|--------------|
| ア 大いに不安を感じている | イ 少し不安を感じている |
| ウ 不安は感じていない   |              |
| エ その他 ( )     |              |

問6① あなたの町会が、これからの町会運営のために重要だと思っていることについてお伺いします。各項目についてあてはまるもの1つにチェック☑してください。

	重要	普通	それほど重要でない
ア 次の担い手を発掘・育成していく取組	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
イ 町会の活動や行事参加を住民へ働きかけること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ウ 町会に対する住民の関心度アップ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エ 町会役員の負担軽減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オ 町会の行事や運営、組織体制の見直し	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カ 町会への加入促進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キ 町会広報などによる町会情報の発信や共有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ク 電子メールなどを活用した市との情報伝達	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ケ 世帯台帳の整備など住民情報の把握	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コ 住民が集まったり活動したりする場所の確保	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
サ PTAなど地域における他の組織との連携	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
シ 町会の統廃合など組織の再編成	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ス その他重要と考える取組 ( )			

問6② 上の項目の中で、特に重要だと思う上位3つについて、その記号（ア～ス）をご記入ください。

1番		2番		3番	
----	--	----	--	----	--



### 3. 町会と市との関わりについて

問7 あなたの町会では、町会の維持・活性化に向けた市からの支援についてどう考えていますか。各項目についてあてはまるもの1つにチェック☑してください。

	強力に支援してほしい	ある程度支援してほしい	支援は必要ない
ア 町会活動への費用の助成	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
イ 町会の担い手づくりに向けた取組	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ウ 町会活動へのアドバイスや相談体制の充実	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エ 情報発信の仕組みづくり（町会便りやSNS*など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オ 市の施策の情報提供	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カ 他町会における取組や運営の工夫などの情報提供	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
キ 様々な町会が集まって話し合いや情報交換をする場の設定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ク その他必要な支援（ <span style="float: right;">）</span>			

\* SNS：フェイスブックなどインターネットを介して人がつながるサービス

問8 市が協働によるまちづくりに向けた施策の一つとしている「エリア担当制度」について伺います。

エリア担当制度 …市職員がエリア担当職員として担当地区（町会）を受け持ち、町会の要望などを担当課につないだり、地区の定例会に出席して施策の情報提供などを行うもの。  
（各出張所・総合支所の地区は、各所所属の職員がエリア担当職員となっています。）

① 制度についてどう考えていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| ア 今のままでよい     | イ 改善が必要な点がある    |
| ウ 制度の必要性を感じない | エ 制度のことがよくわからない |

② 制度に望むことや担当職員にやってほしいこと、また改善点など、自由に意見をご記入ください。

## 4. 最後に伺います。

問9 あなたの町会の魅力やよいところをお聞かせください。

活動、環境、人、歴史、スポットなど何でも結構ですので、自由にご記入ください。

問10 町会に関するご意見や、町会活動を行う上で日頃思っていることなど自由にご記入ください。

アンケートはこれで終わりになります。お忙しい中お時間を割いていただき感謝申し上げます。  
どうもありがとうございました。